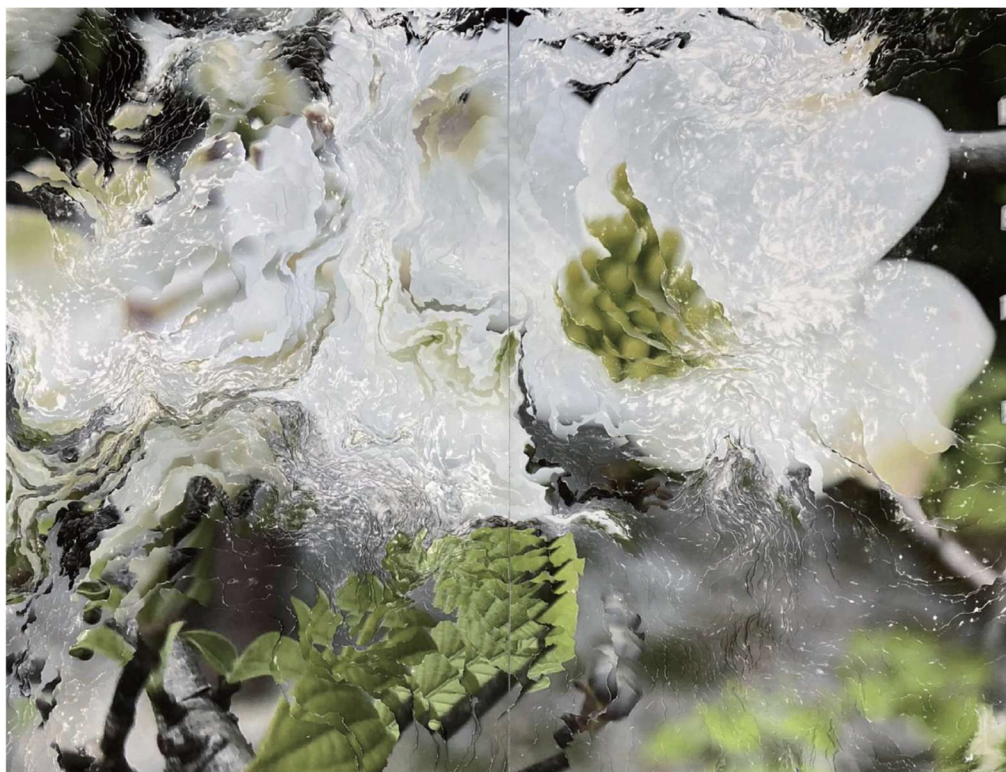


Nerhol 種蒔きと鳥 Misreading Righteousness

2025 年 7 月 12 日（土）— 10 月 13 日（月・祝）



■ 展覧会概要

Nerhol（ネルホル）は、グラフィックデザイナーの田中義久（1980-）と彫刻家の飯田竜太（1981-）により 2007 年に結成されたアーティストデュオです。

人物を連続撮影した写真の束に彫刻を施した初期のポートレート作品で注目を集めた彼らは、他者の思想や異なる分野領域とも大胆に接続しながらその関心と対象を拡げ、表現を深化させていきます。写真と彫刻のみならず、自然環境と人間社会、可視性と不可視性といったさまざまな境界を往還し紡ぎ出される表現は、幾重にも張り巡らされた複数の関係を緋き繋ぐ、独自の価値を獲得してきました。その表現活動の歩みを振り返る大規模個展「Nerhol 水平線を捲る」（千葉市美術館、2024 年）に続き開催される本展では、最新作を中心に未発表作を加えた約 80 点による構成で彼らの多層的な探究の現在地を紹介します。

「種蒔きと鳥 Misreading Righteousness」。本展が掲げるタイトルには、物事や行為の一義的な確かさに問いを投げかけ、そこに潜在する意味や覆い隠された関係を注視してきた二人の一貫した姿勢が反映されています。蒔かれた種がその場で育つことと、掘り返されて運ばれどこか別の地で芽吹くこと。どちらもある面では正しく目的を遂げていると同時に、見方を変えれば失敗や過誤になりえます。両義的な世界のあり様をその複雑さのまま掬い上げようとする制作の営為が、私たちの日常への意識にささやかな変容をもたらす。本展がその機会となることを願います。

■ 見どころ

1. ミッドキャリア・レトロスペクティブ^(*) 後の新作個展

昨年千葉市美術館で開催された大規模個展「Nerhol 水平線を捲る」。結成以来の表現活動を振り返り、その変遷と深化を示した同展は大きな反響を呼び、令和 6 年度芸術選奨文部科学大臣新人賞の受賞という評価も得ました。本展はその後に制作された最新作を中心に、未発表作を加えた約 80 点で構成します。連続イメージを積層し彫るという制作手法、これまで手がけてきたさまざまな素材、対話という制作の起点などを改めて見つめなおし、新たなアプローチへと展開させた、Nerhol の第二章の幕開けともいえる充実の新作個展です。

^(*) ミッドキャリア・レトロスペクティブ…アーティストの晩年や没後に開催されることが多い一般的な「回顧展」とは異なり、一定のキャリアを築いた中堅アーティストの仕事を総括する展覧会。

2. 多様な素材への新たなアプローチ

連続撮影した写真の束を彫り刻む手法で存在を強く示した Nerhol ですが、関心領域の拡大に応えるように街路樹や珪化木（地中で長い時間をかけて珪酸が浸透し石化した植物）、ストーンペーパー（石灰石を原料とする高強度の紙）など、さまざまな素材を作品に用い、探究を多層的で豊かなものにしてきました。本展ではそれぞれの素材が新たなアプローチにより作品化されます。素材の違いをこえて作品どうしが呼応する展示構成にも注目です。

3. 新作による大規模インスタレーション

近年の Nerhol の主要なモチーフのひとつである帰化植物（本来の自生地から人間の活動によって他の地域へ運ばれ、野生化した植物）。本展ではハナミズキがモチーフに選ばれました。その歴史的背景や土地との関係へのリサーチをふまえ、新たな制作手法に挑んだ大型作品を展示します。展示空間そのものも素材に、大規模なインスタレーションとして発表される新作にご期待ください。

■ 開催情報

展覧会名	Nerhol 種蒔きと鳥 Misreading Righteousness
会 期	2025 年 7 月 12 日（土）－ 10 月 13 日（月・祝）
休 館 日	月曜日（7 月 21 日、8 月 11 日、9 月 15 日、10 月 13 日は開館）
開館時間	10:00～17:30（展示室への入場は 17:00 まで）
観 覧 料	一般 1400 円（1120 円） 大高生 1120 円（900 円） ・（ ）内は 20 名以上の団体料金 ・中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料です。 ・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせて MOMA S コレクション（1 階展示室）もご覧いただけます。

出品点数	約 100 点
主 催	埼玉県立近代美術館、朝日新聞社
協 力	Yutaka Kikutake Gallery
広報協力	JR 東日本大宮支社、FM NACK5

■ 会場案内

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0119

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

- ・ J R 京浜東北線北浦和駅西口から徒歩 3 分（北浦和公園内）。J R 東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約 35 分。
- ・ 当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で 300 円引き、MOMAS コレクション観覧で 100 円引き）。団体バスは事前にご相談ください。
- ・ お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前にご連絡をお願いします。
- ・ 状況により休館および会期変更の可能性があります。ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

■ 関連事業

○アーティスト・トーク

登壇者 | Nerhol（田中義久、飯田竜太）、大浦周（当館学芸員）

日時 | 7 月 20 日（日）15:00～16:30（開場は 14:30）

場所 | 2 階講堂 定員 | 80 人（申込不要、当日先着順） 参加費 | 無料

○ワークショップ（子ども向け）

「動画を作品にしてみよう」

講師 | Nerhol（飯田竜太）

日時 | 8 月 17 日（日）10:30～12:00

場所 | 3 階創作室 定員 | 15 人（事前申込制、要参加費）

対象年齢 | 5 歳～小学 6 年生（中学生もお申込みいただけます）

内容 | 動画を印刷して積み重ね、彫刻して作品を作ります。

○ワークショップ（大人向け）

「同じ作業を繰り返し、作品を作ってみよう」

講師 | Nerhol（飯田竜太）

日時 | 8 月 17 日（日）17:00～19:00

場所 | 2 階講堂 定員 | 20 人（事前申込制、要参加費） 対象年齢 | 高校生以上

内容 | 写真を短冊形に裁断し、再構成してイメージを作り出します。

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 8 月 31 日 (日)、9 月 20 日 (土) 各 15:00～ [30 分程度]

場所 | 2 階企画展示室 *企画展観覧料が必要です。

■ スライド・トーク

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します (予約制)。

お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当 (TEL: 048-824-0110) まで。

■ 同時開催

MOMAS コレクション (1 階展示室)

■ 6 月 7 日 (土) - 8 月 31 日 (日)

「セレクション」 「特集: デビュー 50 周年記念 山本容子」

■ 9 月 6 日 (土) - 11 月 30 日 (日)

「セレクション」 「アーティストの絵本」 「MOMAS の動物園」

■ 図録

展覧会図録を当館ミュージアム・ショップで 9 月中旬頃より販売予定です。

■ プレスカンファレンス

2025 年 7 月 12 日 (土) 17:30～ (受付開始: 17:00)

埼玉県立近代美術館 2 階展示室

参加ご希望の方は、p2401115@pref.saitama.lg.jp (担当・篠原) までメールでお申し込みください。その際、貴社名、お名前、参加人数、テレビカメラの有無をお知らせください。

■ お問い合わせ

展覧会担当: 大浦、佐藤 / 広報・画像に関するお問い合わせ: 篠原

TEL: 048-824-0111 (代表) / 048-824-0110 (学芸直通) FAX: 048-824-0118 (学芸直通)

p2401115@pref.saitama.lg.jp (企画展担当)

■ 広報用画像

画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。
ご請求は p2401115@pref.saitama.lg.jp（担当・篠原）まで、メールでお願いいたします。

- ・ 画像を掲載する場合は、作品のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・ 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ・ 掲載作品以外の画像をご希望の場合はお問い合わせください。

画像キャプション

- ① 《Cornus florida linn》2025 年 | ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
- ② 《Piano sonata 01》2025 年 | ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
- ③ 《connecticut》2025 年 | ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
- ④ 《Canvas (Oasa)》2025 年 | ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
- ⑤ 《carve out / E.M 38a》2023 年 | ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
Photo by Daisuke Shima Photography

①



②



③



④



⑤

